



日本の植物園

公益社団法人 日本植物園協会 [編]

菊判・上製・488 (カラー 64) 頁・本体 7,800 円



絶滅危惧植物
Threatened Species



日本植物園協会50周年記念誌

日本の植物学に影響を与え続けた日本植物園協会50年の記録。「植物園ガイド」、歴史・研究・保全活動などをまとめた「論文編」、日本植物園協会史・植物園の発展史・海外植物事情調査記録・大会研究発表記録などをまとめた貴重な「資料編」を掲載。

昭和薬科大学薬用植物園

- 194-8543 東京都町田市東玉川学園3-3165
- 042-721-1585
- <http://garden.shoyaku.ac.jp/index.html>
- 平成22年(1990)4月1日
- なし
- 土曜日のみ開放、月1回「薬草教室」(4～7、9、10月)、申し込み制(団体見学受付)
- 10:00～16:00
- 無料
- 小田急線玉川学園前駅下車徒歩15分、またはバス15分「昭和薬科大学前」下車徒歩5分
- 漢方薬や民間薬として利用される薬用植物や、ハーブ、スパイス、サプリメントの原料植物、その他、さまざまな有用植物が栽培されており、季節ごとに花や果実を観賞できます

437 **生きた教材を用いた実践的指導を行う場**

薬科大学の薬用植物園として、(1)教育、(2)研究、(3)薬用植物に関する正しい知識を一般市民へ普及・啓蒙、の3つを目的に活動を行っています。(1)の教育は大学生や薬剤師を対象とした実習を実施、(2)研究としては、薬用植物の栽培と品質評価に関する研究や薬用植物の分類に関する研究を実施、(3)普及・啓蒙活動は、一般市民から小学生にいたるまで幅広い年齢層を対象として、薬草教室や団体見学の受け入れを実施しています。

東京農業大学農学部植物園

- 243-0034 神奈川県厚木市船子1737
- 046-247-4353
- <http://nodai.ac-town.net/modules/mblog/categories.php?mode=show&category=29>
- 昭和22年(1947)4月
- なし
- 土・日曜日、大学休業日
- 9:00～16:00
- 無料
- 小田急線厚木駅より徒歩30分、バス「農大入口」下車
- サクラ、ツバキ、サクラソウ、ギボウシなどの伝統薬用植物、カタクリやニンシヨク群落が見られる

105 **生産農学・環境農学・福祉農学の教育理念に基づき設置**

温室にはショウガ科植物などの資源植物や熱帯果樹、キャンバスや園地には国内における絶滅危惧種および草原性植物の野生植物種の保全・保護も積極的に行っています。またサクラ、ツバキ、サクラソウ、ギボウシなどの伝統薬用植物およびこれらの野生種の栽培保護が行われ、教育、研究資料として提供されています。キャンバス内には418種類の植物が自生しており、カタクリやニンシヨク群落が残る雑木林は人の心の癒しの場としても利用されています。

六甲高山植物園

日本最古の高山植物園

海抜865mの六甲山頂付近に位置する高山植物園。北海道南部に相当する冷涼な気候を利用し、世界の高山植物や寒冷地植物、六甲山自生植物など、約1500種を栽培しています。50,000㎡の園内には、高山植物を収集したロックガーデンや溪流沿いの湿地、ブナの本園など、それぞれの植物を、環境にあわせてより野生に近い状態で栽培しています。

912

- 657-0101 兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲 4512-150
- 078-891-1247
- <http://www.rokkoisan.com>
- 昭和8年(1933)5月1日
- なし(80台)
- 9月月上旬に臨時休園あり
- 10:00～17:00 (入園16:30まで)
- 大人620円(中学生以上)
- 小人310円(4歳～小学生)
- 阪神御影駅・京六甲道駅・阪急六甲駅より神戸市バス16「六甲ケーブル下駅」にて六甲ケーブル乗換「六甲ケーブル山頂駅」より六甲山頂バス「高山植物園」下車
- 世界の高山植物、寒冷地植物、六甲山自生植物展示。日本を代表する“高山植物の女王コマクサ”の大群落は当園ならではの、咲き前では園内に咲く花を楽しまわりやすく紹介

富山県中央植物園 (トリアス)

- 939-2713 富山県富山市中町上巻田42
- 076-466-4187
- <http://www.bgym.org/>
- 平成5年(1993)10月1日
- あり(332台)
- 休園日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4
- 9:00～17:00 (2～10月、入園16:30まで)
- 9:00～16:30 (11～1月、入園16:00まで)
- 大人500円(12～2月は300円)
- 京富山線より富山線バス「中央植物園口」下車、徒歩12分
- 富山にゆかりのサクラ、くすりの植物、高山・絶滅危惧植物室、豊南温室、中国雲南省の植物、日本海側の野生植物、国内最大規模のバラグアイオニバスの植栽展示など

257 **世界の緑 緑の世界**

平成5年に開園した総合植物園で、園内の中央には東西300m、90本のツメヨシノの並木があり、満開の4月にはライトアップされた夜桜を楽しむことができます。南半分は「日本の植物ゾーン」、北半分は5つの温・冷室を含む「世界の植物ゾーン」となっており、中国雲南省の植物やくすりの植物などを観賞できます。サンライズホールではラン展、植物園展、クリスマスフェアなど多彩な企画展が開催され、子供から大人まで楽しめる参加型イベントも催されています。

富山大学農学部附属 薬用植物園

- 930-0194 富山県富山市杉谷2630
- 076-434-7592
- <http://www.pha-u-toyama.ac.jp/plant/garden.html>
- 大正12年(1923)
- あり
- あり
- 外客者に対しては原則として非公開
- なし
- 京富山線から富山地方鉄道バスで約30分「富山大学附属病院」下車、丹波岡駅から加越能バスで約50分「富山大学附属病院」下車、富山西ICから車で約4分
- 一般の薬用植物に加え、東南アジアや南米パラグアイの薬草・薬木を約610種保存。原則として非公開であるが、年2回、春季と秋季に施設の一部公開を行っている

434 **薬都富山の薬草園**

現在の保存植物の総数は品種を含め約2000種であり、標本見本品、水生植物区、樹木区、温室、パーム室は栽培されている。特に標本見本品では約300種の薬用植物に名札を付けて維持・管理しており、教育、実習、研究等、様々な目的での利用に便宜を図っている。

植物導入と栽培・展示

香月茂樹 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター)

今からもう40年ほど昔のこと、私が植物園協会加盟園の北里大学薬学部附属薬用植物園の職員であった頃は、薬用植物園が神奈川県相模原市に設置されてまもなく、栽培管理している植物の種類・数いずれも少なく、いろいろな面で充実を図るべく、土方や大工仕事から、一方で栽培に立つことまで、日々の経過することを忘れての生活であった。日本植物園協会第四部の方々をはじめ、多くの方々のご協力により、年々ある程度は充実し、10年経過した頃には他の薬用植物園への協力も可能となった。

その後、未加盟園の国立衛生試験所薬用植物栽培試験場(現在の独立行政法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター)へ転職。北海道名寄りに約2年と鹿児島種子島に18年勤務した。出張などなかなか困難で、ほとんど監居の身のような状態であった。その20年間を含め、個人会員となり、薬用植物園などの加盟園の方々は「組織の糸」で連絡を取らせていただき、情報や種苗の交換などをさせていただいた。

1. 日本植物園協会の海外植物調査

現役を退いた今になって思い起こせば、日本植物園協会による海外事情調査に参加させていただいたのは、はるか昔の「浦高太郎」のおとき話のような感さである。それは、1981年、1982年、1983年のミコノシヤ連邦のボンベイ島(旧ボンバハイ)とその前のヤップ島の植物調査であった。この頃の海外植物調査は「海外植物調査収集隊」という名称で行われ、植物収集目的の色合いも濃かった。これら3回の調査の結果は日本植物園協会20周年記念出版「ボンバハイ—その自然と植物—」にまとめられた。故滝戸道夫会長の下、放中村武久隊長、内藤俊彦隊長はじめ、他10隊員の惜しみない協力により上梓できたことは感激深いものがある。このような事業に關してはいろいろ意見を耳にするが、まとまった報告書を作成できたことは、同一地域での密度の高い調査研究の賜物のひとつと言えるであろう。収集した標本は、東京農業大学、東北大学理学部附属植物園、北里大学薬学部附属薬用植物園などに



図1 Hoya schnei Schtr. (キョウチクトウ科)の形態の花の形態。林内での花期の模様。

固有種の Hoya schnei (キョウチクトウ科)を増

資料 1. 日本植物園協会会員植物園一覧

Table with 3 columns: 101, 102, 102. Columns contain member information such as name, address, and contact details for various botanical gardens.

組見本

資料 13. 日本植物園協会史

Table with 2 columns: 日 日, 事 項. Contains a chronological list of events and activities from 1947 to 2018, including the founding of the association and various conferences.

目次

序文 日本の植物園—日本植物園協会50周年記念誌刊行にあたって 邑田 仁(日本植物園協会50周年記念誌編集委員長)

祝辞 ヴェアノン・ヘイウッド(国際植物園連合会長)

祝辞 ピーター・ワイズ・ジャクソン(ミズーリ植物園園長)

植物園ガイド—日本植物園協会正会員

論文編

都市緑化植物園の管理運営と活性化

最近の海外事情調査

植物導入と栽培・展示

植物園のネットワークによる保全活動

植物園を利用した社会啓発

魅せる植物園とその経営

薬用植物園の機能と貢献

利用者から見た植物園

日本植物園協会と植物園 など

資料編

資料 1. 日本植物園協会会員植物園一覧

資料 2. 日本植物園協会会員の履歴

資料 3. 賛助会員の記録

資料 4. 会員数(年度別)

資料 5-1. 歴代役員一覧

資料 5-2. 歴代評議員一覧

資料 6. 名誉会員一覧

資料 7-1, 7-2. 委員会活動記録

資料 8. 大会・総会開催記録

資料 9. 表彰一覧

資料 10. 大会研究発表記録

資料 11. 海外植物事情調査記録

資料 12. シンポジウム(公開)記録

資料 13. 日本植物園協会史

資料 14. 植物園の発展史

論文執筆 : 岩科 司・岩槻邦男・北中 進・岡島徳岳・岡島一允・久山 敦・伊藤 悟・堀 透・松谷 茂・桜田通雄・輿水 肇・高橋康夫・加藤雅啓・香月茂樹・遊川知久・倉重祐二・老川順子・富士田裕子・田中伸幸・稲垣典年・田中俊弘・酒井英二・山浦高夫・鈴木三男・田中法生・中田政司・本間和枝・西川綾子・渡辺 攻・坂崎信之・上田 準・岩田光一・小山 章・坪井勇人・竹谷孝一・南雲清二・鳥居恒夫・明智洗一郎・立松 勇・山住一郎・石川美枝子・石川 格・広津 旭・前川文夫・山崎 登・大橋広好・白瀧義明・滝戸道夫

書店注文書: 日本全国どこの書店でもお取り寄せが可能です。この用紙を書店にお渡し下さい。

Order form for Hatahara Shoten, featuring a large logo for '日本の植物園' (Japan's Botanical Garden) and contact information for the Japanese Botanical Garden Association.